



飯島忠 議員

質問 公共施設内のバリアフリートイレの設置と改修について

答弁 バリアフリートイレの設置、洋式化に向けた取り組みを検討する

飯島議員の質問動画



議員 アグリサイエンスバレー構想が完成するにあたり、市内観光、買い物を楽しむ人が多数来場する。おもてなしの一つにきれいなトイレ、障がい者の方々が利用出来るバリアフリートイレの整備と設置が必要である。当市の見解は。

教育部長

アグリサイエンスバレー構想が完成した際には、市内の観光施設に多くの観光客の来場が見込まれることから、今後は市内観光施設のみならず、各施設を所管する関係課と調整を図りながら、バリアフリートイレやトイレの洋式化に向けた取り組みを検討していく。

議員

各施設のトイレの中には、機能不足、トイレまでの通路に段差があり車椅子が通れない等の不備が見られる。また、災害時の避難所のトイレについても同様である。高齢者や障がい者の方に避難所へ避難を呼び掛けても使用することができない。当市の見解は。

市長公室長

福祉避難所を中心としたユニバーサルデザイン

ーサルデザインの取り組みや学校老朽化による修繕、適正配置の動向と併せて、多機能トイレの設置についても考えていく。また、福祉避難所だけではなく、車椅子に対応した多目的トイレのレンタルも可能となっている。

議員

レンタルトイレが設置されるまでの間、どのような対応をするのか考えていただきたい。また、国土交通省は、令和3年に多目的・多機能トイレの名称を変更するようバリアフリー設計の指針を改正した。当市の対応は。

総務部長

啓発ポスター等を掲示して適正な利用を促していく。また、建築設計標準に基づいて、整備を進めていく。

議員

バリアフリー化、ユニバーサルデザインを取り入れ、多様性に配慮して過ごせるまちづくりを目指していただきたい。

【その他の質問】

- ★豊田サブグラウンド利用の促進
- ★ヤングケアラー支援



倉持守 議員

質問 持続的な市発展のために区域指定と地区計画の見直しを

答弁 全面的に見直しを図る中で新たな定住増加策の検討を進めていく

倉持議員の質問動画



議員 常総市の今後の発展を目指すには、東京近郊という地理的条件を活かした人口減少の抑制策、基幹産業の農業の発展や企業からの法人税の増収と就労先の拡大が必要と考える。

議員

まず、常総市の市街化区域及び区域指定の面積を尋ねる。

都市建設部長 市街化区域は6地区で524・1ヘクタール、市街化調整区域における区域指定は23地区で542・9ヘクタールの区域をそれぞれ指定している。

議員

区域指定と地区計画の見直しについて伺う。

都市建設部長 早々に調整を行い着手していく。来年度からは都市計画マスタープランの改定を行い、地区計画の追加及び新規地区計画等の新たな定住増加策の検討を進める。

議員

早急なスピード感を持って見直しをやるべきと考える。ふるさと回帰支援センターによると、1都

3県で約309万人が地方移住を希望しているとの発表もある。区域指定の見直しにあたり、水害危険区域の約200ヘクタールを縮小すると聞いている。定住増加策を検討する上で区域指定の拡大も必要と考えるが市の見解は。

市長

災害ハザードにおける区域指定の見直しは縮小になるが、縮小と同時に拡大する部分も出せればと思う。工業団地や拠点施設へのオファーをいただいていることから、雇用・住宅政策が重要になってくるため、教育・医療・商業施設等を含めた総合的な都市計画マスタープランや区域指定について、全面的に大胆に見直しを図っていく。

議員

今後の区域指定の見直しの中で条例の変更も必要である。指定区域の中にも商業施設も取り入れ、道路や下水道などインフラ整備についても併せて考慮していただきたい。

【その他の質問】

- ★ごみ袋の配布状況について尋ねる



【地区計画】 都市計画において、開発・建築行為を規制・誘導することにより地区特性にふさわしい市街地を形成するための制度
【区域指定】 市街化調整区域の指定区域内であれば、集落出身要件等を問わず、誰でも住宅等の建築物を建てることができる制度